

平成28年度全国学力・学習状況調査結果について

1 実施日 平成28年4月19日(火)

2 調査対象 第6学年児童18名

3 調査内容

(1) 教科に関する調査(国語A、国語B 算数A、算数B)

Aは主として「知識」に関する問題、Bは主として「活用(知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力)」に関する問題です。

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

4 調査結果

(1) 教科に関する調査

国語A(主として知識に関する問題)、国語B(主として活用に関する問題)は、全国を下回りました。
算数A(主として知識に関する問題)は、おおむね全国平均と同程度でした。また、算数B(主として活用に関する問題)は、全国平均を下回りました。

(2) 質問紙調査

成果が見られた項目

- 友達と話し合うとき、友達の意見を最後まで聞くことができますか。
- 将来の夢や目標を持っていますか。
- 学校に行くのは楽しいと思えますか。
- 学校で、好きな授業がありますか。
- 学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか。
- 地域や社会で起こっている問題に関心はありますか。
- 学校のきまりを守っていますか。
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。
- 国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか。

課題が見られた項目

- ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがありますか。
- 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか。
- 土日など学校が休みの日に、1日あたりどれくらいの時間、勉強しますか。
- 家で学校の授業の復習をしていますか。
- 家で、予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習していますか。
- 学級会などの話し合い活動で、自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめていますか。

- 国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめりに内容を理解しながら読んでいますか。
- 算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか。
- 算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか。
- 今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方を書く問題がありました。どのように解答しましたか。
- 調査問題の時間は十分でしたか。

5 学力向上の取り組み

今年度の6年生は、みんなの前で堂々と発表しようという目標のもと、様々な場面で力を発揮してきた。学習に対しても、前向きに取り組み、落ち着いた学習態度で授業に臨んでいる。また、昨年度から力を入れてきた体力向上では、朝や放課後、自主的に陸上練習を行い、市の小学生陸上大会や市民体育祭の陸上競技の部では近年にない素晴らしい結果を残した。さらに、各種作品展に積極的に参加し、優秀な成績を収めた児童も多い。そして、全員が一つになり、学校をよくしようと頑張っている姿が多く見られる。

今回の調査結果では、国語の基礎・基本の内容の確実な定着及び国語・算数それぞれに活用力に関する問題に課題が見られました。そこで、本校では今後、次の3点について重点的に取り組んでまいります。

- 個に応じた指導の充実と反復学習により、基礎的・基本的な知識の確実な習得をはかる授業を行う。
 - ・個人の興味・関心や習熟度に応じた指導に当たれるように学習形態や課題の与え方を工夫するとともに、複数教員での指導も積極的に取り入れる。
- 最後まで根気強く考え解決しようとする意識の改善に努める。
 - ・発問や問題の意味を正しくとらえる指導を徹底して解決の見通しが持てるようにするとともに複雑な問題にも対応できるような発展的な課題を解く場を設定する。また最後まであきらめずに取り組んで解決できたという達成感・成就感を数多く味わわせ、問題や課題に挑戦する意欲を高めていく。
- 言語活動を充実させ、表現力(書く・話す・伝える)の育成に努める。
 - ・書く力を高めるために、まず自分の考えを書かせたり、自分の言葉で学習のまとめを書かせたりする時間を設定する。また、発表したり、伝え合ったり、意見を交換し合ったりする機会を多く持つため、ペアやグループでの活動機会を多くする。

6 保護者・地域の皆様へ

児童の学習環境・生活環境作りについて、次の点で家庭や地域の方々のご協力をお願いいたします。

- 家庭生活・学習について
 - ・規則正しい生活(早寝・早起き・朝ご飯)の習慣づけと学年にみあった家庭学習時間の確保(特に週末の学習時間の確保)
 - ・映像メディアに接触する時間の制限
- 読書について
 - ・長文に慣れ親しみ、文章を読むことへの抵抗をなくすために、学年にあった本の読書をする習慣作り
- 地域の人との関わり
 - ・コミュニケーション能力を高め、郷土愛やお年寄りへの尊敬の念を持てるようにするための地域行事等への積極的な参加